

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

日常の心が温まる出来事を豊かに表現しました ～心の温もり作文～

大槌町では、身近な出来事を題材として、よりよい生き方や社会生活について作文に表現することで、自分を見つめ直し、表現力の育成と子どもたちの健全育成を図ることを目的として、毎年「心の温もり作文」の取組を行っています。

今年度も町内の各学園、高校から、たくさんの作品の応募がありました。厳正な審査により入賞作品が選出されました。表彰式ではそれぞれの部門で最優秀賞に輝いた皆さんの発表がありました。堂々と作文を発表する姿にも、確かな表現力が現れていました。今年度の最優秀賞受賞者の皆さんを紹介します。



小学校低学年の部 最優秀賞
大槌学園 2年 丸茂 奈々夏さん
「どりょくしてできたさか上がり」



小学校中学年の部 最優秀賞
大槌学園 4年 阿部 斗極さん
「世界の人の幸せ」



小学校高学年の部 最優秀賞
吉里吉里学園 5年 芳賀 芽生さん
「当たり前の大切さ」



小学校高学年の部 最優秀賞
大槌学園 5年 駒林 陽夏さん
「米から感じた生命という宝」



中学生の部 最優秀賞
吉里吉里学園 8年 佐野 道太郎さん
「敗北が教えてくれた」



中学生の部 最優秀賞
大槌学園 9年 及川 綾日さん
「自分らしさを大切に」

令和3年度住みよい町づくり作文「心の温もり」表彰式



皆さん、おめでとうございます！

〈優秀賞受賞の皆さん〉

大槌学園 1年 那須 海斗 さん	大槌学園 4年 村上 絢 さん
吉里吉里学園 6年 川原 来琉 さん	大槌学園 9年 釜崎 心美 さん
大槌高校 1年 小國 優花 さん	大槌高校 1年 菊地 喬花 さん

〈佳作受賞の皆さん〉

大槌学園 2年 白澤 温人 さん	吉里吉里学園 4年 佐野 和希 さん
大槌学園 5年 佐々木 汰一 さん	吉里吉里学園 9年 豊野 愛凜 さん
大槌高校 1年 岡本 鈴 さん	大槌高校 1年 三浦 夢偉 さん

「横断歩道の前ではしっかり止まって、右・左！」

大槌商工会女性部から、大槌町の子どもたちの安全を願い、大槌インターの横断歩道と安渡ランプの横断歩道にストップマークを設置していただきました。作業も女性部の皆さんが行ってくださいました。子どもたちが安全に過ごすことは町民全員の願いです。横断歩道を渡る際には、必ず一度止まって、左右を確認してから横断するよう、ご家庭でも改めてお声かけをお願いします。

大槌商工会女性部の皆さん、ありがとうございました。



大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校
ホームページでも
行事の様子を
発信しています！

地域課題の解決策を構想する！「SIMulationおおつち」

大槌高校では、1年生の生徒が「三陸みらい探究」という授業の中で、大槌町の地域課題に対する解決策を構想する「SIMulation おおつち」という取り組みを行っています。大槌町議会に設定いただいた6つのテーマに対する解決策を、町内外での調査活動を通して構想する生徒の様子をお伝えします！

高校生が構想する6つの地域課題テーマ

- ①大槌町の農業の担い手増加のための施策を考えよ
- ②高齢化社会の中でも、医療・介護サービスを安定的に提供するための担い手育成の仕組みを考えよ
- ③魅力的なふるさと科のカリキュラムを考えよ
- ④大槌町のゴミの排出量を減らすための施策を考えよ
- ⑤大槌町へのU・Iターン者増加のための施策を考えよ
- ⑥持続可能な地域コミュニティ再生に向けた施策を考えよ

大槌町議会によるテーマ説明会



10月6日（水）には、大槌町議会の芳賀潤議員と菊池忠彦議員に本校を訪問いただき、テーマに関する説明や、高校生に期待していること等のお話をいただきました。生徒からは「町は高校生の率直な意見を求めているという話が印象に残った」といった感想が挙がりました。

大槌町内フィールドワーク

10月27日（水）には大槌町内フィールドワークを実施しました。活動の前半では大槌町役場にご協力いただき、各テーマの所管課に対して、町としての取り組みをヒアリングしました。また、後半ではテーマに関連する施設や住民のもとを訪れ、施設見学や交流活動を行いました。



生徒の感想

私は白沢自治会を訪問し、震災後の地域コミュニティづくりについて学びました。住民同士の交流を増やそうと、1つひとつの活動を工夫して行っていることを知り、私も自分が住んでいる地域でできることを考えてみたいと思いました。

1年 三浦 夢偉 さん



ラーニングジャーニー（大槌町外フィールドワーク）



12月13日（月）には大槌町外フィールドワークを実施しました。テーマごとに、矢巾町、花巻市、北上市、住田町、陸前高田市、宮城県気仙沼市に分かれて、各テーマに対して先進的な取り組みを行っている自治体や民間団体を訪問し、ヒアリング調査を行いました。



生徒の感想

僕は気仙沼市の移住・定住支援センターを訪問し、移住者の方々とお話しました。どの方も「やりたいことを応援してくれる人間関係が移住の決め手となった」という話をしており、町の中に若者が挑戦しやすい雰囲気をつくるのが重要なのだと学びました。

1年 遠藤 大地 さん

2月下旬に、大槌町内にて最終発表会を開催する予定です。詳細については、次号でご案内します。